

戦争法廃止の政府を訴え

富山・岐阜でも

女性70人スラリ
「女性のレッドアクション」
とよま実行委員
会」は11日、富山市の

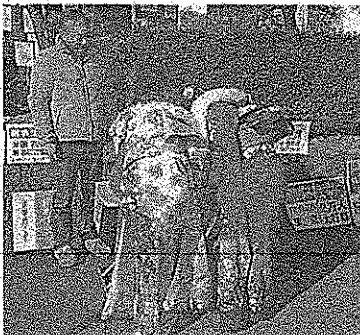
富山駅南口前で、新年最初の戦争法廃止のスタンディングアピールにとりくみました。冷たい雨が降りしきるなか、赤いものを身に着けた女性ら70人余が参加しました。



冷たい雨のなか、戦争法廃止をアピールする女性のレッドアクション参加者=11日、富山市

富士宮市では 新成人に訴え

静岡県富士宮市の「富士宮九条の会」は10日、市内8カ所で行われる成人式会場前で「いま、あなたと同じ若者たちが政治と社会



呼びかけにこたえ戦争法廃止署名をする新成人=10日、富士宮市

を変えするため、平和憲法を守るために立ちあがっています」と呼びかける新成人向けのビデオの配布と戦争法廃止2000万署名活動をを行いました。

新成人15人が参加した榎野中学校区の榎野公民館前では、九条の会メンバー2人が成人式開始1時間前から新成人全員にビデオを手渡し、新成人5人を含む22人分の署名を集めました。祝福に訪れた中学生が「集団的自衛権って聞いたことあるけど、どういうこと？」と質問してくる場面もあり、戦争放棄した憲法9条に違反して日本が攻撃されていなくても海外で他国と戦争することなど説明すると納得していました。

同会は、9日にも「憲法を守ろう!富士宮市市民の会」新成人式にも参加し、戦争法廃止に力を入れています。

か、数人がハンドマイクで戦争法廃止への思いや安倍政権の暴走への怒りを訴えました。

富山県高等学校教職員組合副委員長の松井恵美子さんは、自衛隊の

ホームページに、自衛隊に入れば奨学金の返還を免除する制度があると紹介していることを指摘。経済的徴兵制にもつながる危険な動きだとして、戦争法を必ず廃止しようと訴えました。

参加者全員で「戦争法は絶対反対!誰の子どもも殺させない!」などとコールしました。

通りかかった何人もがアピール行動を注目。千円をカンパしていく人もいました。

アピール後、実行委員会は自民党憲法草案の危険性などについて学習会を開きました。

手を振る子ども

岐阜県関市で9日、22回目の戦争法廃止スタンディングアピール行動が関市郵便局前で

行われ、40人が参加しました。主催は「戦争法を許さず平和を求める関市民の会」。

交差点の角々には「若者を戦場に送るな!戦争法つぶせ!」と書いた大きな横断幕が張られ、「戦争反対」のボードが高く掲げられると、ワゴン車から身を乗り出して「頑張って」と手を振る子どももいました。

呼びかけ人の石川凡朗さんや桜井邦彦さんは「戦争法廃止の2000万署名で対話を進め、野党共闘を実現させて参院選で安倍政権を倒そう」と訴えました。

リレートークでは、地元的女性が「母の下の子は戦死した。こんなことは二度といや。安倍政治を絶対につぶそう」と涙ながらに語りました。

小森氏は、質問に答えながら、シルズの若者たちの祖父は若者ら九条の会会員で、彼らは九条の会が育てたといっても過言じゃないと指摘。民主

党と維新の党が会派をつくったことから、ゆさぶりをかけられ、安保法制の修正案が出される個別論になり、廃止論が開かれてしまうこともあり、みんな

で反対した法律を廃止することの一致を守りきることを大事だと力説しました。

小森氏は、参議院選挙の1人区で野党共闘を成功させ、戦争法廃止につなげるために、こういう明確な一点を

持った九条の会の草の根の運動を成功させることが要だと訴えました。参加者で今年成人式を迎えた女性は「大変勉強になった。いろんな人から話を聞いて、しっかりした考えを持ちたいと思えました」と話しました。